

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年5月11日

**【四半期会計期間】** 第16期第1四半期(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

**【会社名】** ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

**【英訳名】** GungHo Online Entertainment, Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長CEO 森下一喜

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区三番町3番地10

**【電話番号】** 03-6893-8500

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区三番町3番地10

**【電話番号】** 03-6893-8500

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結 累計期間	第16期 第1四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高 (千円)	2,151,576	3,291,395	9,607,947
経常利益 (千円)	469,343	254,973	1,545,172
四半期(当期)純利益 (千円)	529,113	227,937	1,657,750
四半期包括利益 又 又は包括利益 (千円)	797,682	726,771	1,276,623
純資産額 (千円)	10,282,249	11,565,491	10,794,796
総資産額 (千円)	13,488,450	15,229,057	14,200,995
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	4,603.35	1,983.08	14,422.62
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	4,595.31	1,980.00	14,398.20
自己資本比率 (%)	50.6	52.6	52.6

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第15期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で緩やかに持ち直しつつあり、また企業の設備投資に回復の動きが見られるほか、個人消費も底堅く推移しました。

当社を取り巻く事業環境は、平成23年12月に発売された新型携帯ゲーム機PlayStation(R)Vitaがオンライン機能を搭載していること、またスマートフォンの普及拡大がさらに進み、端末を問わずオンラインゲームが楽しめる市場が拡大してまいりました。

このような状況を踏まえ、当社グループでは「新規価値の創造」と「既存価値の最大化」を経営方針とし、パソコン・スマートフォン・新型ゲーム機等、様々な端末に向け新しいゲームタイトルの創出及び既存ゲームの価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は売上高は3,291,395千円（前年同期比53.0%増）、営業利益は248,751千円（同10.1%減）、経常利益は254,973千円（同45.7%減）、四半期純利益は227,937千円（同56.9%減）となりました。

なお、報告セグメントの状況（セグメント間の内部取引消去前）は、以下のとおりであります。

#### PCオンライン事業

PCオンライン事業におきましては、サービス開始から今年度で10周年を迎える「ラグナロクオンライン」をはじめとし、当社オリジナルタイトルである「エミル・クロニクル・オンライン」等、ゲーム内イベントや新アイテムの販売等を継続的に行い、順調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,162,979千円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、580,717千円（同2.4%増）となりました。

## モバイルコンシューマ事業

モバイルコンシューマ事業におきましては、昨年12月に発売を開始したPlayStation(R)Vita向けに「ラグナロクオデッセイ」を2月2日に発売開始するなど、新型ゲーム機でオリジナルゲームタイトルの発売を行い、当社のブランド力強化を図っております。

また、スマートフォン向けには、2月に「パズル&ドラゴンズ」並びに「戦国テノカトリガー」をiPhoneでサービスを開始いたしました。「パズル&ドラゴンズ」においては、3月末時点で40万ダウンロードを突破し、さらにiPhoneトップセールスランキングではサービス開始から3日後には1位を獲得し、5週間1位を継続するなど、好調な出だしとともに、高い人気を博しております。

この結果、売上高は1,195,676千円（前年同期比458.2%増）、セグメント損失（営業損失）は、142,498千円（同17.6%減）となりました。

## (2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、15,229,057千円（前会計年度末比7.2%増）となりました。これは主に、売上高の好調な増加などにより現金及び預金が283,054千円増加、譲渡性預金の預入などにより有価証券が193,029千円増加、海外においてオンラインゲーム「ラグナロクオンライン」の正式サービスを開始し、開発費用をソフトウェア仮勘定からソフトウェアへ振替えたことによりソフトウェアが1,485,014千円増加及びソフトウェア仮勘定が1,274,099千円減少したことによります。

負債合計は、3,663,565千円（同7.6%増）となりました。これは主に、サーバー関係費用に関する未払金増加などによる流動負債その他勘定が202,763千円増加したことによります。

純資産合計は、11,565,491千円（同7.1%増）となりました。これは主に、四半期純利益227,937千円の計上、少数株主持分の229,573千円の増加及びウォン高により為替換算調整勘定が312,627千円増加したことによります。

## (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4)研究開発活動

第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は98,836千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	321,200
計	321,200

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年5月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	114,941	114,941	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注1)(注2) (注3)(注4)
計	114,941	114,941		

(注)1 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

2 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。

3 発行済株式のうち24,308株は、現物出資(関係会社株式1,999,537千円)によるものであります。

4 「提出日現在発行数」欄には、平成24年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月31日		114,941		5,331,384		5,324,072

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 114,941	114,941	権利の内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	114,941		
総株主の議決権		114,941	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,287,954	6,571,009
売掛金	1,244,614	1,426,923
有価証券	161,705	354,734
商品	22,139	26,814
仕掛品	192,952	2,513
その他	677,862	780,914
貸倒引当金	7,636	7,338
流動資産合計	8,579,591	9,155,571
固定資産		
有形固定資産合計	378,631	434,323
無形固定資産		
のれん	530,092	516,766
ソフトウェア	1,027,066	2,512,075
ソフトウェア仮勘定	2,382,251	1,108,151
その他	26,779	30,071
無形固定資産合計	3,966,190	4,167,065
投資その他の資産		
投資有価証券	82,218	82,001
長期前払費用	111,335	137,996
繰延税金資産	592,718	631,799
その他	647,152	785,397
貸倒引当金	156,842	165,098
投資その他の資産合計	1,276,582	1,472,096
固定資産合計	5,621,403	6,073,486
資産合計	14,200,995	15,229,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,764	273,823
短期借入金	-	55,000
1年内返済予定の長期借入金	132,554	131,021
1年内償還予定の社債	14,300	14,300
未払法人税等	536,355	540,052
賞与引当金	9,428	26,001
その他	1,627,703	1,830,467
流動負債合計	2,631,106	2,870,665
固定負債		
社債	14,250	7,100
長期借入金	228,906	195,738
退職給付引当金	81,719	85,574
長期前受収益	181,407	215,269
その他	268,809	289,217
固定負債合計	775,092	792,899
負債合計	3,406,199	3,663,565
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,331,384	5,331,384
資本剰余金	5,492,357	5,492,357
利益剰余金	1,723,264	1,495,327
株主資本合計	9,100,476	9,328,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	556
為替換算調整勘定	1,627,361	1,314,733
その他の包括利益累計額合計	1,627,361	1,314,177
少数株主持分	3,321,680	3,551,254
純資産合計	10,794,796	11,565,491
負債純資産合計	14,200,995	15,229,057

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,151,576	3,291,395
売上原価	665,602	1,501,799
売上総利益	1,485,974	1,789,596
販売費及び一般管理費	1,209,254	1,540,844
営業利益	276,719	248,751
営業外収益		
受取利息	30,769	33,419
負ののれん償却額	161,619	-
その他	18,230	5,906
営業外収益合計	210,618	39,326
営業外費用		
支払利息	4,045	4,345
持分法による投資損失	2,886	4,773
為替差損	7,597	21,742
その他	3,464	2,243
営業外費用合計	17,994	33,104
経常利益	469,343	254,973
特別利益		
投資有価証券売却益	190,761	-
特別利益合計	190,761	-
特別損失		
減損損失	26,764	18,319
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,758	-
特別損失合計	32,523	18,319
税金等調整前四半期純利益	627,581	236,654
法人税、住民税及び事業税	70,481	73,567
法人税等調整額	27,640	35,465
法人税等合計	42,840	38,101
少数株主損益調整前四半期純利益	584,740	198,552
少数株主利益又は少数株主損失( )	55,627	29,385
四半期純利益	529,113	227,937

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	584,740	198,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,835	1,111
為替換算調整勘定	320,776	527,108
その他の包括利益合計	212,941	528,219
四半期包括利益	797,682	726,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	611,530	541,121
少数株主に係る四半期包括利益	186,151	185,649

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年3月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
減価償却費	175,024千円	199,095千円
のれんの償却額	24,784千円	38,874千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,958,004	193,572	2,151,576		2,151,576
セグメント間の内部売 上高又は振替高	26,817	20,614	47,431	47,431	
計	1,984,822	214,186	2,199,008	47,431	2,151,576
セグメント利益 又は損失( )	567,207	121,218	445,989	169,269	276,719

(注)1. セグメント利益の調整額 169,269千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない  
 当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCオンライン事業」セグメントにおいて、ゲーム資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間において26,764千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「PCオンライン事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に買収したBarunson Interactive  
 Co., Ltd. (現Gravity Games Corp.) の取得原価の当初配分額を修正したことにより、のれんが  
 407,726千円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,132,061	1,159,334	3,291,395		3,291,395
セグメント間の内部売 上高又は振替高	30,918	36,342	67,260	67,260	
計	2,162,979	1,195,676	3,358,656	67,260	3,291,395
セグメント利益 又は損失( )	580,717	142,498	438,219	189,467	248,751

(注)1. セグメント利益の調整額 189,467千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない  
 当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、ゲーム資産の減損損失を計上しております。  
 なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間において18,319千円であります。

## (のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## (重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4,603円35銭	1,983円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	529,113	227,937
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	529,113	227,937
普通株式の期中平均株式数(株)	114,941	114,941
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4,595円31銭	1,980円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	201	179
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月11日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社  
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中嶋康博 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。